

「高槻南高校を支える旧職員の会」(略称・支える会)

設立趣意書

旧職員の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、既に新聞報道などで、ご承知の通り、大阪府教委は、8月30日に「全日制府立高等学校特色づくり、再編整備第1期実施計画」第3年次対象校(案)を発表し、平成15年度から高槻南高校を実質的に廃校とする方針を示しました。

高槻南高校は、73年の創立以来、地域に根ざした高校として発展を続け、2学区の中で確固たる地位を占めた学校であることは誰もが認めるところです。学習活動、部活動、国際交流活動などあらゆる面において生徒の要望を満たす充実した高校であることは、長年、同校で活躍してこられた旧職員の皆様がよくご存知のことと思います。また府教委自らが策定した「基準」「特色作りへのとりくみ実績」「特色ある学校の地域バランス」「志願状況」「地域的な近接性」「交通の利便性」「施設状況」「以上六点について客観的条件を総合的に判断」に照らしても廃校とする理由は全く見当たりません。

むしろ以下の理由で、廃校案はきわめて不当なものとなっています。

高槻南高校が廃校にされると、高槻市域の全日制普通科高校の配置は、北4校、南1校という極端なアンバランスとなります。

志願状況も1.2倍前後という、2学区では根強い「高南(タカナン)」人気を保ち、現在も23学級を維持しています。

中退率は0.1%(中退者1名)という、府立高校では中退率が最も少ない学校で、生徒の学校生活全般への充足感が大きいことを証明しています。

近年、市外、特に茨木市からの志願者が増加し、その比率も3~4割に及んでおり、かつ、学区制をとっている限り高槻市内の中卒者数の減少だけを理由に廃校対象とすることは出来ません。

さて、実質的な廃校という衝撃的な報に接し、当初、大きな失意と困惑につつまれた同校関係者も、その後、態勢を整え、現在、さまざまな連帯の環を広げながら、廃校反対の運動を力強く展開しています。生徒、保護者、教職員は連日、街頭に繰り出して署名活動を行い10月15日現在、10万7千名分の署名を集めて、既に府教委へ提出しております。高槻市民を中心に「高南廃校阻止」に向けた大きな広がりが生まれています。

PTA 同窓会主催の集会も数回開催され、常時、数百名の参加者を得ています。「高南は入りたい学校の代表、こんな学校をつぶすのは許されない」「卒業生の多くが、自分の子どもも入学させたいと思う学校、裁判に訴えても廃校を阻止しよう」など、関係者の熱い声が、次々にあがっています。更に、地元府議会議員への請願活動、街頭デモなどの取り組

みが連日、行われています。このような中で、「府教委による高槻南高校廃校案の凍結とこれにかかわる正式決定を延期せよ」との声が、議会関係者からも生まれています。

府教委は、9月府議会が閉会後の大阪府教育委員会で高槻南高校廃校案を含めた再編成案を、正式決定する予定です。廃校反対運動は今、正念場を迎えています。

私たちは、このような重大な情勢の中で、廃校反対運動を更に一層支えるため、以下のような活動を行いたいと考えています。どうか趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願いよりお願い申し上げます。高槻南高校にこれまで在職した旧教職員の皆さん、高槻南に、非常勤講師等で、直接的・間接的にかかわりをもった教員の皆さん、高槻南出身教員の皆さんのご賛同をお願い申し上げます。

(活動内容)

「高槻南高校の廃校に反対する会」(教職員、PTA、生徒会、同窓会等で構成)の活動を物心両面から支える。

上記の団体及び、その構成団体と連携し、広報、請願活動など必要な活動を展開する。運動を支える資金カンパを募る。

【追記】カンパは一口五千元とさせていただきますが、一口未満でも結構です。煩瑣な手続きを省略するため、下記口座への振込みをもって入会確認とさせていただきます。振り込み後、事務局まで、ご連絡いただければ幸いです。なお資金カンパのみにて支えいただく場合は、その旨お知らせください。

2001年10月15日

「支える会」設立呼びかけ人一同
(氏名は別紙に掲載)

【連絡先】

*事務局は当面、以下の3名でお世話させていただきます。

(振込口座)

口座名称 「高槻南高校を支える旧職員の会」

口座番号 00960-5-48328